

Kanjiru (Art) 展覧会 中里花子 陶器 個展



アートギャラリーのようでギャラリーではない —
“A gallery, but not a gallery” をコンセプトにした、神戸元町山手の「BIOME (バイオーム)」(以下「BIOME」)
による Kanjiru (Art) 展覧会のご案内となります。

中里花子 陶器 個展 「夜の色」

会期：2020年9月19日(土)～9月27日(日)

時間：13:00～18:30(最終日は16:00閉廊)

休廊：9月23日(水)

在廊：在廊の予定はございません

作品：約200点

唐津見借の森に佇む「monohanako」は、緑濃く樹々に溶け込んだ中里花子氏のアトリエ&ギャラリーです。
棚や仕切りが陰影をなし、陽の入り具合で、作品たちの表情とその変化が楽しい。

そのなかで、ひときわ目を奪われたものがありました。
どこまでも深い紺色のカップやリム皿が陰のせいか漆黒に見えます。その漆黒が美術品のように潔く、
出番待ちの生活の具のように、静まり返っているかに見える、色と光の不思議な感覚に、見入ってしまいました。

中里氏の作品には、持つ手にふくよかさを感じさせ、フォルムは安心感をあたえてくれるものがあります。
また竹を模していて、内側に節はないのにあたかも飲み物が揺れるような面白さも楽しめます。
飲む仕草をし、「これは酒器にでも使えそう」というと、おもしろがる中里氏。
「そうしましょう」と、作品の小ボウルが、銜いもなく使い手の思いとして受け入れられてしまうことも。

鷹揚でいて、「monohanako」で見た漆黒のような濃紺や青で引き締まる作品を集めた「夜の色」個展。
BIOMEにてご案内いたします。

アーティストのご紹介

中里花子 (Hanako Nakazato)

唐津に生まれ育ち、16歳で単身渡米

- ・ 大学卒業後帰郷し、父中里隆より陶芸を学ぶ
- ・ 2000年、東京万葉洞での親子展を皮切りに、日本、アメリカ各地で数々の個展を開催
- ・ 2007年、唐津に自身の工房「monohanako」を設立
- ・ 2010年にメイン州に「monohanako West」を設立
- ・ 現在、唐津とメイン州を半年ごとに行き来し作陶

みどころ

太陽が隠れ、光が鎮まり、暗闇が広がる時。
一日のうちで、時間の流れを感じる時ではない
でしょうか。

夜空にうっすらと浮かぶ雲。
木々や葉のシルエット。
月明かりによる色の演出は、静かだけど、
存在感があり、目を見張るものがあります。

今回の個展「夜の色」が魅せる世界です。
夜が美しい神戸にお住いの皆様に、手にとって
いただきたいと思います。
皆様のお越しをお待ちしております。

※在廊の予定はありませんが、中里花子氏のライフ
スタイルを垣間見ることのできるスライドショーを
ご用意する予定です。

別紙

2020年9月吉日

Kanjiru (Art) 展覧会

中里花子 陶器 個展

「夜の色」



BIOME
KOBÉ, JAPAN

2020年9月19日(土)～9月27日(日) / 13:00～18:30 (最終日は16:00閉廊)

*9月23日(水)は休廊



夜の色をイメージしたシックなブルー系の器たち。日常の様々なシーンで活躍してくれそうです／中里花子作

本件に関するお問い合わせ



BIOME
(バイオーム)

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-7-15 グローリー山手ビル 101
tel : 090-3945-2040 email : artroom@biome-kobe.com